

- 切らずにがんを治す 放射線治療 -
最新の治療方法や患者さんの実体験を紹介
「見て聴いて知る！がんの放射線治療」動画
JASTRO 動画特設ページで10月19日（水）公開
<http://www.jastro.or.jp/movie/>

公益社団法人日本放射線腫瘍学会（東京都中央区：理事長 西村 恭昌/以下：JASTRO（ジャストロ））は、2018年2月11日（日）に設立30周年を迎えます。30周年記念事業の一つとして、より多くの方に放射線治療について理解を深めていただくため、患者さんの実体験も交えながら、放射線治療の治療法や特長をわかりやすくお伝えする動画「見て聴いて知る！がんの放射線治療」を制作いたしました。JASTROホームページ内動画特設ページで、10月19日（水）から公開いたします。



動画特設ページ



「見て聴いて知る！がんの放射線治療」

国民の2人に1人ががんにかかるという現代。がん治療において、三本柱といわれる手術・放射線治療・抗がん剤治療の中で、日本では長らく手術と抗がん剤治療がその中心を担ってきました。日本での放射線治療の実施率は1995年時点で15%、2010年では30%と倍増しているものの、米国では66%、ドイツでは60%のがん患者さんが初回治療として放射線治療を受けている*のに比べると、日本は実施率が低く、認知度も低いのが現状です。

放射線治療は、がんに侵された組織の「機能や形態を温存できる」治療法で、高いQOL（Quality Of Life：生活の質）を維持しながらがんを治癒に導けます。放射線治療機器においても、IT技術、画像技術の進歩と相まって技術の高度化が急速に進んでいます。この結果、最新の放射線治療では、より多くの線量をがん組織に集中して照射し、周囲の正常組織への線量を低減することで、高い治療効果をあげながら合併症も減らすことが可能になっています。JASTROでは、「ご自身やご家族が本当に納得のいく治療を選択するためにも、放射線治療についてもっと知っていただきたい」という思いから今回の動画を制作しました。今後もJASTROでは設立30周年に向け、患者さんが安心して放射線治療を受けられる認定施設制度の創設、市民公開講座、一般向けホームページの充実などの活動をしてまいります。

*公益社団法人 日本放射線腫瘍学会 がん放射線治療推進委員会「放射線腫瘍医になろう」

■動画「見て聴いて知る！がんの放射線治療」概要

動画タイトル：

- ・「ご存知ですか？がんの放射線治療」篇
- ・「これが最新の放射線治療」篇
- ・「密着！放射線治療 自分らしく生きるために」篇

公開日：10月19日（水）

動画特設ページURL：<http://www.jastro.or.jp/movie/>（動画特設ページURL）

※この映像は、youtubeの「公益社団法人 日本放射線腫瘍学会」公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC4fYODeHsGzSuoV4br511vQ> からご覧いただけます。

「ご存知ですか？がんの放射線治療」篇

放射線治療のエッセンスを、医師による説明や患者さんの言葉を交えて紹介。放射線治療という言葉を知り初めての方にも、放射線治療の特長を知っていただけます。

（3分2秒）



「ご存知ですか？がんの放射線治療」篇

「これが最新の放射線治療」篇

放射線治療の仕組み、種類について詳しく解説しているほか、患者さんの関心の高い合併症や費用についても触れ、放射線治療についてより深く知っていただける動画です。放射線治療のなかでもIMRT（Intensity Modulated Radiation Therapy／強度変調放射線治療）という、体への負担がより少ない治療法についてもお伝えしています。

（8分23秒）



「これが最新の放射線治療」篇

「密着！放射線治療 自分らしく生きるために」篇

最新の動体追尾システムを含め、放射線治療を受けた3人の患者さん体験をご覧いただけます。治療を受けられる様子、治療前後のお気持ちを観ていただくことで、実際の治療がどのようなものなのか、少しでも知っていただければと思います。

（14分0秒）



「密着！放射線治療 自分らしく生きるために」篇

【制作スタッフ】

制作統括：株式会社電通パブリックリレーションズ

制作会社：株式会社ビッグベア

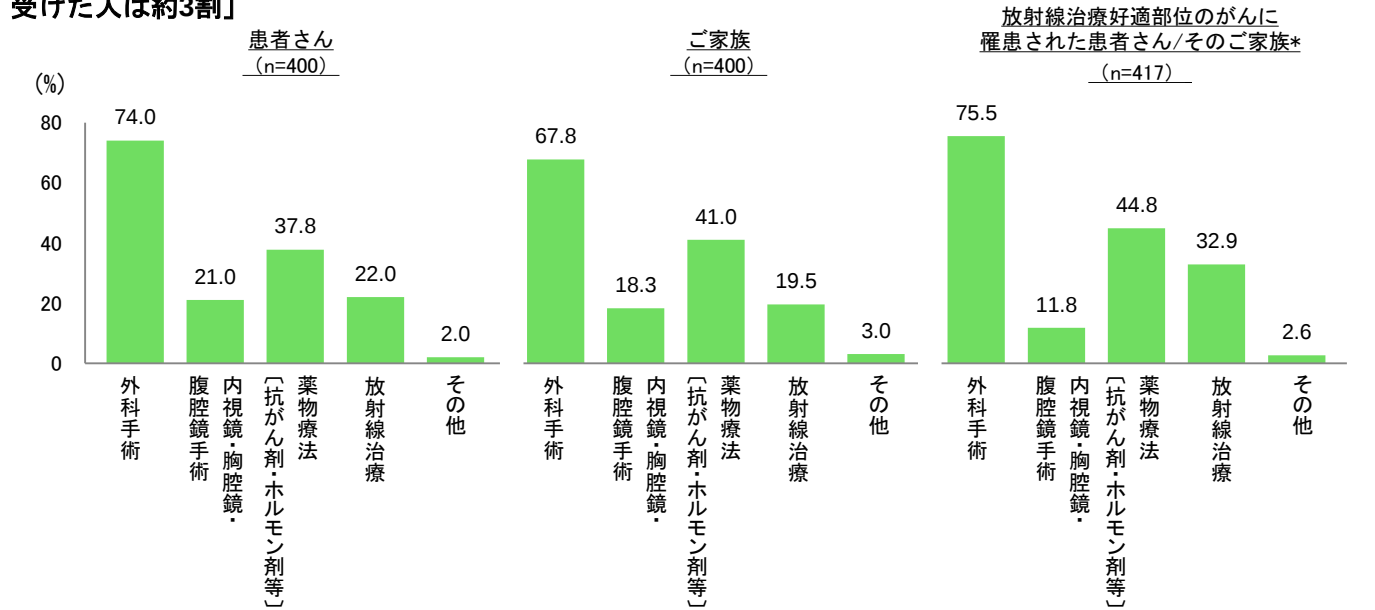
＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞
公益社団法人日本放射線腫瘍学会 担当：角田（つのだ）
Tel: 03-3527-9971 Fax: 03-3527-9973
E-mail: jastro-office@jastro.jp

■参考資料：放射線治療に関する意識調査(対象：患者さんとお家族)

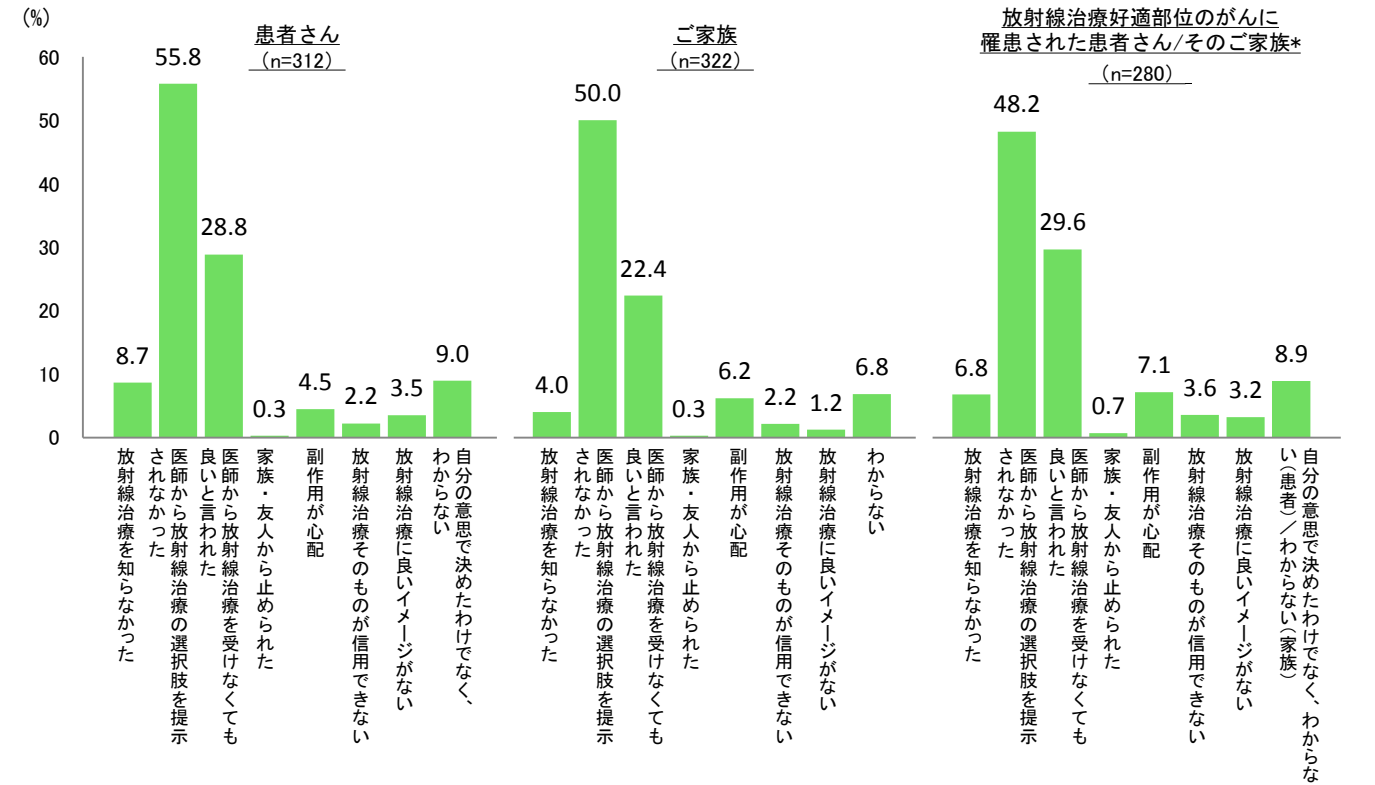
動画を制作するにあたり、患者さんとお家族における放射線治療の実態に関する意識調査を実施しました。「放射線治療を受けられている割合がまだ高くはないこと」や「放射線治療が選択肢となる環境を整える必要があること」が示唆されました。一方で、一度、放射線治療を受けられた患者さんは、放射線治療について「治療効果が高い」「信用できる」「安心できる」と思っている割合が高い、という結果がみられました。

ひとりでも多くの人に放射線治療について理解を深めていただき、よりご自分に適したがん治療を受けていただくことができるよう、JASTROはこれからも放射線治療の啓発活動を実施してまいります。

・放射線治療がよく適応される部位のがんに罹患された患者さん、およびご家族*のうち、「放射線治療を受けた人は約3割」



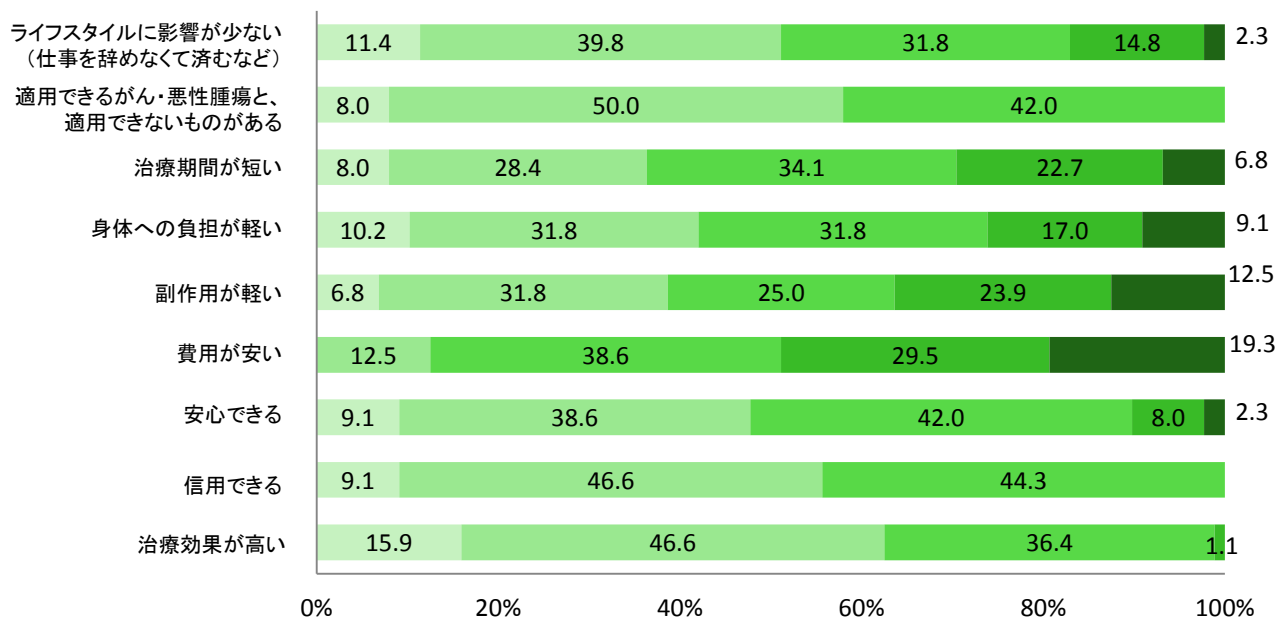
・「放射線治療を受けなかった理由として『医師から放射線治療の選択肢を提示されなかった』と答えた人が約5割」（回答対象は、放射線治療未受療の患者さん/そのご家族）



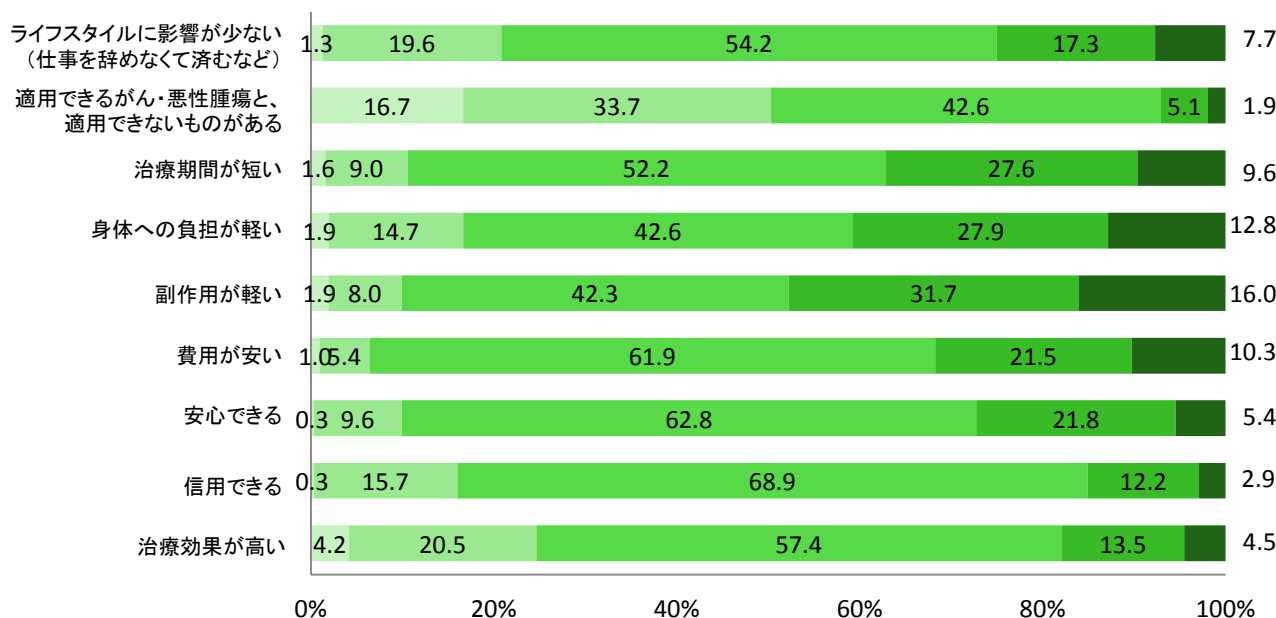
*舌がん、咽喉がん、その他頭頸部がん、脳腫瘍、肺がん、食道がん、乳がん、前立腺がん、甲状腺がん

・放射線治療を受けた患者さんは、放射線治療を受けなかった患者さんと比較して、「治療効果が高い」「信用できる」「安心できる」に対して、「とてもそう思う/まあそう思う」の回答が約40ポイント高い。

放射線治療を受けた患者さん(n=88)



放射線治療を受けなかった患者さん(n=312)



とてもそう思う
 まあそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない

【調査概要】

実施機関: 公益社団法人 日本放射線腫瘍学会

対象: 40～79歳の男女で現在または過去にがん・悪性腫瘍の治療をしたことがある400人、第2親等内にがん・悪性腫瘍になり現在治療中または過去に治療していた人がいる400人の計800人

実施時期: 2016年7月1日(金)～7月4日(月)

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>
 公益社団法人日本放射線腫瘍学会 担当: 角田(つのだ)
 Tel: 03-3527-9971 Fax: 03-3527-9973
 E-mail: jastro-office@jastro.jp